

パイプフック PL
性能試験報告書

2020年 1月 31日

因幡電機産業株式会社
開発統括部

1. 性能試験

1-1. 荷重保持試験（固定時）

(1) 試験方法

図-2 に示すようにパイプフックを W3/8 のボルトに固定した状態で、7.6kg の錘を吊るして 72 時間放置し、パイプフックの脱落の有無を確認します。

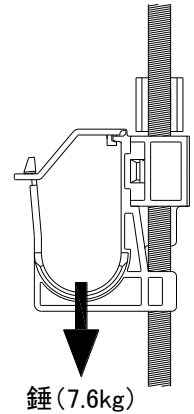


図-2 耐荷重試験（固定時）

(2) 試験条件

雰囲気温度：0℃，23℃，60℃

(3) 試験結果

パイプフックは脱落せず、また、使用上支障のある変形はありませんでした。

1-2. 荷重保持試験（仮止め時）

(1) 試験方法

図-3 に示すようにパイプフックを W3/8 のボルトに仮止めした状態で 1.52kg の錘を吊るして 8 時間放置し、パイプフックの脱落の有無を確認します。

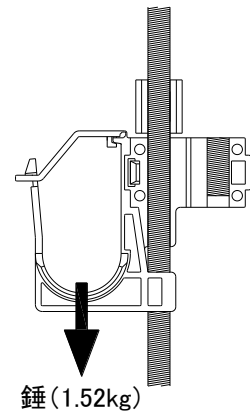


図-3 耐荷重試験（仮止め時）

(2) 試験条件

雰囲気温度：0℃，23℃，60℃

(3) 試験結果

パイプフックは脱落せず、また、使用上支障のある変形はありませんでした。

以上